

環境センター 屋上改修工事

[illegible]

環境センター 屋上改修工事

設計図

特記仕様書（改修工事）

I 工事概要

1 工事名

環境センター 屋上改修工事

2 工事場所

茨城県筑西市下川島656-1 他21筆

3 敷地面積

21,366.00 m²

4. 建設工事その他概要（建物名称、構造、階数、建築面積、延べ面積、等）

(1) 工事範囲 ※図示 ○防水改修工事（撤去を含む）
・外壁改修工事（撤去を含む）
・金属改修工事（撤去を含む）
・建具改修工事（撤去を含む）
・塗装改修工事（撤去を含む）

(2) 建物概要（全体）

建物名称	工場	
構造	鉄骨造、鉄筋コンクリート造	
階数	地上6階、地下2階建て	
建築面積	6,598.09 m ²	
延べ面積	18,396.39 m ²	

5 別途工事

・設計範囲外工事

II 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。

○公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
○公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下、「標準仕様書」という。）
○建築工事標準詳細図（令和4年版）（以下、「標準詳細図」という。）
・建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。

(3) 本特記仕様書の表記
1）項目は、番号に○のついたものを適用する。
2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。・印のみの場合は適用しない。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印のついた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4）特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す

章	項	目	特記事項
①	①	適用区分	・建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速（V0= 30 m/s） の円滑な進捗をはかること。 ・施工体系図を現場に掲示すること。 ・工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤、擁壁、内外壁、床、建具等）を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲 ※ 図示
一般	②	環境への配慮	[1.4.1] (1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びブスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びブスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 (2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す ①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

③ 材料の品質等

[1.4.2]
(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
(2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督員の承諾を受ける。
(3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
(4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥のすべての事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。
(5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料
無収縮グラウト材、乾式保護材、ポリマーセメントモルタル、既製調合モルタル、錠前類、クローザ類、自動扉機構、自閉式上吊り引戸機構、防水剤、既製調合目地材、現場発泡断熱材、フリースアクセスフロア、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、ルーフトレン、吸水調整材、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、可動間仕切、トップライト、鋳鉄製ふた
(6) 「茨城県リサイクル建設資材評価認定制度」で認定されたりサイクル建設資材については、茨城県リサイクル建設資材率先利用指針により率先利用に努めるものとする。
「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「令和3年度茨城県グリーン購入推進方針」に定める「特定調達品目」の判断基準等を満たす環境物品等を選択するよう努めるものとする。
(7) 上記の条件を満たすものが県産品で確保できる場合には、その優先使用に努めるものとする。なお、県産品とは、「茨城県内で生産されたもの、又は加工し製品化されたもの」とする。
ただし、県産品のうち木材については、県内の森林から合法的に産出された木材を使用することとし、「いばらき優良木材証明制度」に基づく証明書など、県産木材であることが確認できる資料を提出して監督員の承諾を受けることとする。

[1.6.9]
室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン（学校施設については、パラジクロロベンゼンについても対象とする。）の濃度を測定し、測定結果を監督員に報告すること。
採取方法及び測定方法は、厚生労働省が示した室内空気中化学物質の標準的な方法とし、ホルムアルデヒドの測定方法は、ジミトロフェニルヒドラジン（DNPH）誘導体化固相吸着／溶媒抽出－高速液体クロマトグラフ法により、その他の揮発性有機化合物の測定方法は、固相吸着／溶媒抽出法とガスクロマトグラフ／質量分析法の組み合わせにより行い、パッシング型採取機器により行うこと。
測定対象室は、平成15年4月1日通知「官庁営繕部における平成15年度からのホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」に準じ、下表の数を標準とする。（（指針値は、付記事項の7を参照）

室の床面積A(m ²)	A≤50	50<A≤200	200<A≤500	500<A
測定箇所数	1	2	3	4

室内空気中の化学物質の濃度測定対象室箇所数表

室名（測定対象室）	床面積	測定箇所数

着工前の測定 ・行う

あと施工アンカー工事
8章（あと施工アンカー）による

コア抜き、はつり工事等
※既存資料調査
・探査機（電磁誘導法又は電磁波レーダー法）による探査
配管・配線等の位置の墨出を行う範囲 ※図示
・放射線透過試験
労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。
(1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明する資料を監督員に提出する。
(2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで放射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。
(3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。
(4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。
(5) 躯体の墨出しは、表裏でズレがないように措置を講ずる。
撮影枚数 枚
フィルムサイズ
コンクリート厚さ cm

⑥ リサイクルの優先順位

⑦ 発生材の処理等

(1)発生抑制の徹底 (2)現場分別の徹底 (3)再使用の徹底
(4)再資源化・再生資材利用の徹底 (5)適正処理の徹底
(再資源化に係る作成書類は、付記事項の6を参照)

・発注者に引渡しを要するもの ※なし ・あり 処理方法（ ）
・特別管理産業廃棄物 ※なし ・あり 処理方法（ ）
・現場での再利用を図るもの ※なし ・あり 品 目（ ）

16 埋蔵文化

※文化財保護法に基づく周知の埋蔵文化財包蔵地内
・掘削作業に際しては、工事立会、試掘確認調査等を要する。施工にあたっては、あらかじめ、工事日程、掘削範囲図及び掘削断面図等を作成の上、監督員、施設管理担当、教育庁文化課担当と協議を行うこと。
・掘削作業に際しては、慎重に施工のこと。施工にあたり、文化財その他の埋蔵物を発見した場合は、直ちにその状況を監督員に報告すること。

⑧ 技能士

[1.6.2]

工 事 種 目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事		・とび（とび作業） ・アスファルト防水工事作業 ○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ○シーリング防水工事作業 ・改質7A7Bシート-防水工事作業 ・FRP防水工事作業（ ）
防水改修工事	防水施工	
外壁改修工事	左官 タイル張り 樹脂接着剤注入施工 塗装	・左官作業 ・タイル張り作業 ・樹脂接着剤注入工事作業 ・建築塗装作業
建具改修工事	サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工	・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業 ・自動ドア施工作業
内装改修工事	内装仕上施工	・プラスチック系床仕上工事作業 ・カーペット系床仕上作業 ・木質系床仕上工事作業 ・ボード仕上工事作業 ・鋼製下地工事作業（ ）
塗装改修工事	建築大工 表装	・大工工事作業 ・壁装作業
耐震改修工事	鉄筋施工 型枠施工 とび コンクリート圧送施工	・建築塗装作業 ・鉄筋組立作業 ・型枠施工（型枠工事作業） ・とび（とび作業） ・コンクリート圧送工事作業
コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形材の工板工事	ブロック建築 ALCパネル施工	・コンクリートブロック工事作業 ・ALCパネル工事作業
石工事	石材施工	・石材施工（石張り作業）
舗装工事	路面標示施工	・溶融ペイント/ドマーカー工事作業 ・加熱ペイント/マシナ作業
植栽工事	造園	・造園（造園工事作業）
屋根及びびとい工事	建築板金 かわらぶき	・建築板金（内外装板金作業） ・かわらぶき（かわらぶき作業）

施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。
工事中に取合部その他本工事範囲外の部分に汚損を生じた場合は、原型に復する。とする。
設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。
工事区分表による。これにより難い場合は監督員と協議する。
る。

[1.8.1～1.8.3] [表1.8.1]
※完成図 ※作成する ・作成しない
提出するもの ・原図 ・製本 部 ※CADデータ（JWW形式）
サイズ ○A1 ・A2 ○A3
※CD-R 完成図（JWW形式）、完成写真（JPEG形式）を収録したものの・維持保全に関する資料（部数 ※1部）

※マスター鍵は、1組3個とし、木製及び金属製建具共通とする。
※鍵は1カ所につき、3個を1組とし、プラスチック札に室名を記入して提出する。
※スチール製キーボックス

適用	内容	枚数	部数	備考
※	工事写真	適宜	1	電子納品
※	完成写真（支払用：内外観）	各2枚以上	1	A4版
・	完成写真（・データ共）	適宜	2	カラー印刷紙×1枚 7A4×縦じ

アルバムは黒表紙金文字入りでサイズはH320 X W300程度とする
完成写真（アルバム）の撮影業者
※建築完成写真の撮影実績のある者で、監督員が承諾する撮影業者
・規格品証明書（原品証明書、同等品試験証明書、試験成績書等）
・ガス圧接作業員技量資格証明書（写し）
・ガス圧接試験報告書
・コンクリート強度試験報告書
・溶接工技量証明書（表・裏とも写し）
・防水保証書（3-5. 6. 7. 8は10年）
・コンクリート配合計画書
・工事実績情報の登録内容確認書の写し
◎火災保険等に加したことを証明できる書類
・建設業退職金共済組合証紙購入状況報告書の写し
◎施工体制台帳の写し
◎施工体系図の写し
◎産業廃棄物処理関係書類（産業廃棄物運搬委託契約書及び許可書の写し、産業廃棄物処理委託契約書及び許可書の写し等
◎産業廃棄物管理票（マニフェスト）の写し
・内装材（下地を含む）にVOC材料を使用した場合は、安全データシート（SDS）及びホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、有機リン系の含有率のデータシート
・室内空気中に含まれる化学物質の濃度測定報告書
◎建設副産物実態調査に関する出力調査票
◎その他 監督員が必要と認め、指示した書類及び部数

※文化財保護法に基づく周知の埋蔵文化財包蔵地内
・掘削作業に際しては、工事立会、試掘確認調査等を要する。施工にあたっては、あらかじめ、工事日程、掘削範囲図及び掘削断面図等を作成の上、監督員、施設管理担当、教育庁文化課担当と協議を行うこと。
・掘削作業に際しては、慎重に施工のこと。施工にあたり、文化財その他の埋蔵物を発見した場合は、直ちにその状況を監督員に報告すること。

⑨ 施工図等の取扱い

⑩ 既存部分との取合い

11 設備工事との取合い

12 他工事又は他工種との取合い

⑬ 完成図等

14 引渡物

⑮ 提出書類

② 1 防音・粉じん等の対策

仮 ② 足場

設 工 事

③ 既存部分の養生

4 監督員事務所

⑤ 工事用水

⑥ 工事用電力

7 仮設間仕切り

⑧ 工事看板

[2.1.3]
・防音パネル ・防音シート
防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲
[2.2.1] [表2.2.1]
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり据置き方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行う。
外部足場 ・設置する（設置範囲 ・図示）
・設置しない
防護シート ・設置する（設置範囲 塗料使用時随時 ・図示）
・設置しない
落下防止 ・設置する（○図示）
・設置しない
・材料、撤去材等の運搬方法
種別 ○A種 ○B種 ・C種 ・D種 ○E種（ ）
C種：利用可能なエレベーター（ ）
D種：利用可能な階段（ ）
[2.3.1]
1）養生の方法等
・既存部分 養生の方法（※ビニルシート、合板 ・ ）
・既存家具、既存設備等 養生の方法（※ビニルシート等 ・ ）
・既存ブラインド、カーテン等 養生の方法（・ビニルシート等 ・ ）
（ ・図示 ・ ）
・備品、机、ロッカー等の移動（ ・図示 ・ ）
2）既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
※ 設ける
規模： m²程度
仕上げる程度：
・机 脚 ・椅子 脚 ・ロッカー 台 ・書棚 台
・ホワイトボード ・製図板 ・掛時計 ・寒暖計
・ゴム長靴 ・雨合羽 ・保護帽 ・懐中電灯
・安全帯 ・受託者加入電話の予備
・消火器 ・湯沸器 ・掃除具
・その他（ ）
・設けない
構内既存の施設
・なし
※あり（・利用できる（有償） ※利用できない）
構内既存の施設
・なし
※あり（・利用できる（有償） ※利用できない）
[2.3.2] [表2.3.1]
1）仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・図示
2）仮設間仕切りの種別と材質等

種別	下地	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填材
・A種	・木	・せっこうボード	・あり	※有り
・B種	・軽量鉄骨	・軽量鉄骨種類（ ・ ） 厚さ（※9.5mm ・ mm） ・合板 材種（ ・ ） 厚さ（※9mm ・ mm） ・	・なし	
※C種	単管	防炎シート		

充填材 ※ガラスウール32K（厚：50mm以上）

3）仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所	充填材
※木製	※合板張り程度	※無	※図示	・有
・	・	・片面	・ 他所	・無

充填材 ※ガラスウール32K（厚：50mm以上）

[2.4.1]
※設置する
設置の場所（・ 監督員と協議の上決定）
記載事項（※工事番号 ※工事名称 ※発注者 ※設計者 ・監理者
※工期 ※施工者）
大きさ（※H900mm×W1800mm程度 ・ ）
・設置しない

特記事項

図面サイズはA1とする。図面サイズがA3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える
例：1/50→1/100、1/100→1/200、1/200→1/400、1/30→1/60、1/20→1/40、1/10→1/20、1/5→1/10

株式会社金田設計事務所

茨城県筑西市野殿1463番地
TEL0296(24)6699・FAX0296(24)5904
E-mail k-sekkei@kvp.biglobe.ne.jp

一級建築士事務所 茨城県知事登録第A3868号
一級建築士 建設大臣登録第275332号 金田 吉雄

承認

担当

製図

年月日

2022. 03

工事名称

環境センター 屋上改修工事

縮尺

NON SCALE

図面名称

特記仕様書（1）


図面番号

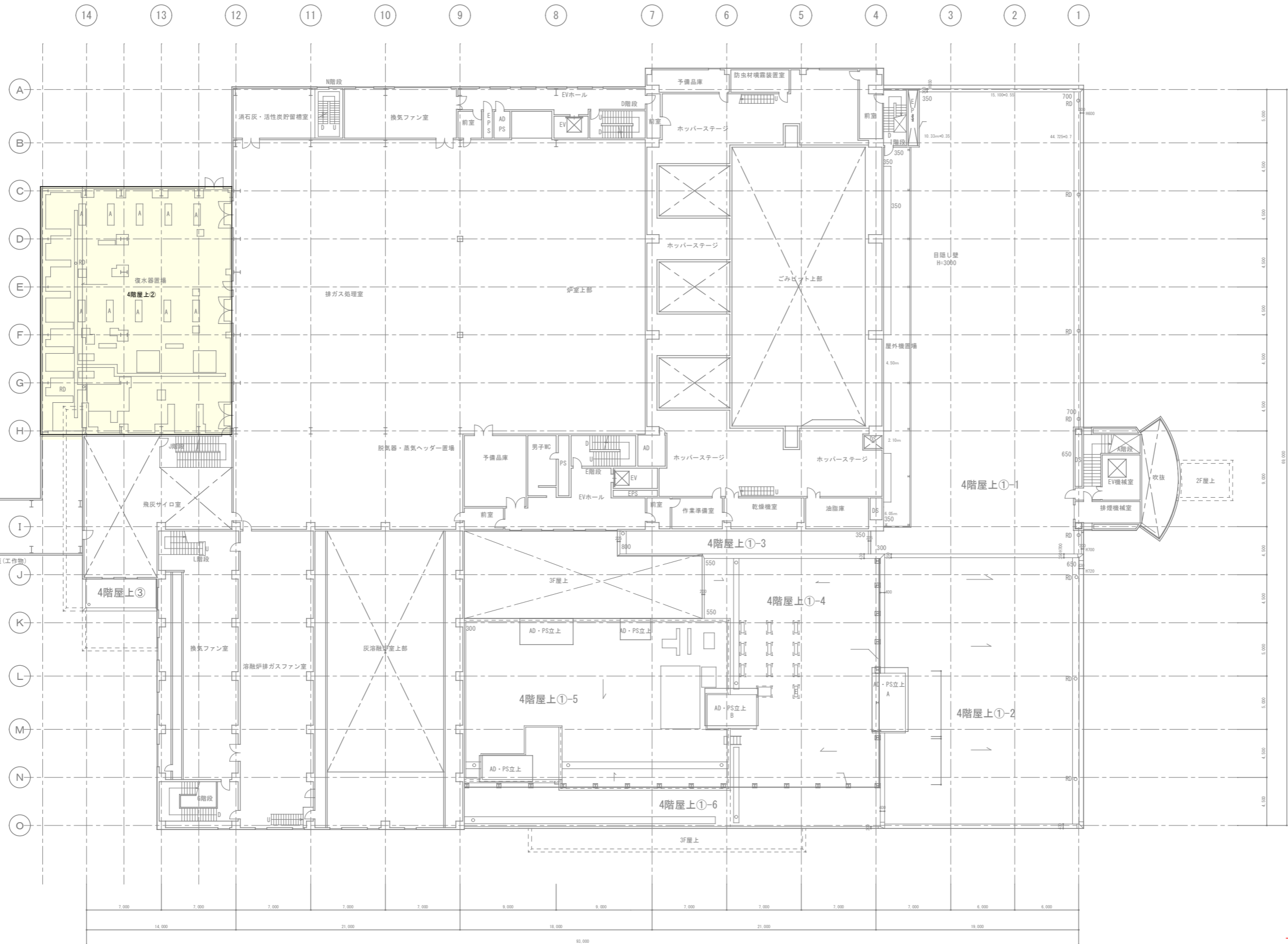
A
01

[illegible][illegible]

外部仕上表


部 位		記号	改 修 前	改 修 後
屋上	6 F 屋上③		平場 : 塩ビ系ルーフィングシート防水(S-PF) 露出、ALC厚100下地、外断熱工法 アスファルト防水、コンクリート金ゴテ下地、外断熱絶縁法(A-PS) 立上り: 塩ビ系シート防水立上げ、アルミ金物押えの上、ゴムアスファルト系シール材 保護板	平場・立上り : 高圧洗浄、下地活性剤塗布(ゴムアス系)、高強度ウレタン・ゴムアス複合塗膜防水【AXSP KP153仕様(エフワンエヌ同等)】に改修 ジョイント部は【SP-1 0.5kg(エフワンエヌ同等)】で吹き増し、シート防水欠損部及び浮き部分はブチルテープ等で補修する 避雷導体や設備配管等は一時的に取外し、防水工事施工後に再取付を行う ※保護板: 保護板四周シーリング、破損保護板取替え
	6 F 屋上④ 5 F 屋上①、階段上 4 F 屋上②		設備小屋屋根: コンクリート金ゴテ仕上、天端塗膜防水 設備基礎 : コンクリート金ゴテ仕上、天端塗膜防水 ・架台基礎 ・ルーバー基礎 ・設備小屋基礎 ・トップライト基礎 ルーフドレン: 鋳鉄製、タールエポキシ樹脂焼付既製品Φ150(縦引)	設備小屋屋根 : 高圧洗浄、下地活性剤塗布(ゴムアス系)、高強度ウレタン・ゴムアス複合塗膜防水【AXSP KP153仕様(エフワンエヌ同等)】に改修 パラペット : 平場と同材で立上げ、笠木下端もしくは上端止め 設備基礎 : 部分詳細図参照 ※ALC外壁と防水取合い部分 既存シーリング 撤去の上、打ち替え ルーフドレン : 改修用アルミ製ストレーナーキャップ(ドレンキャップ)取付

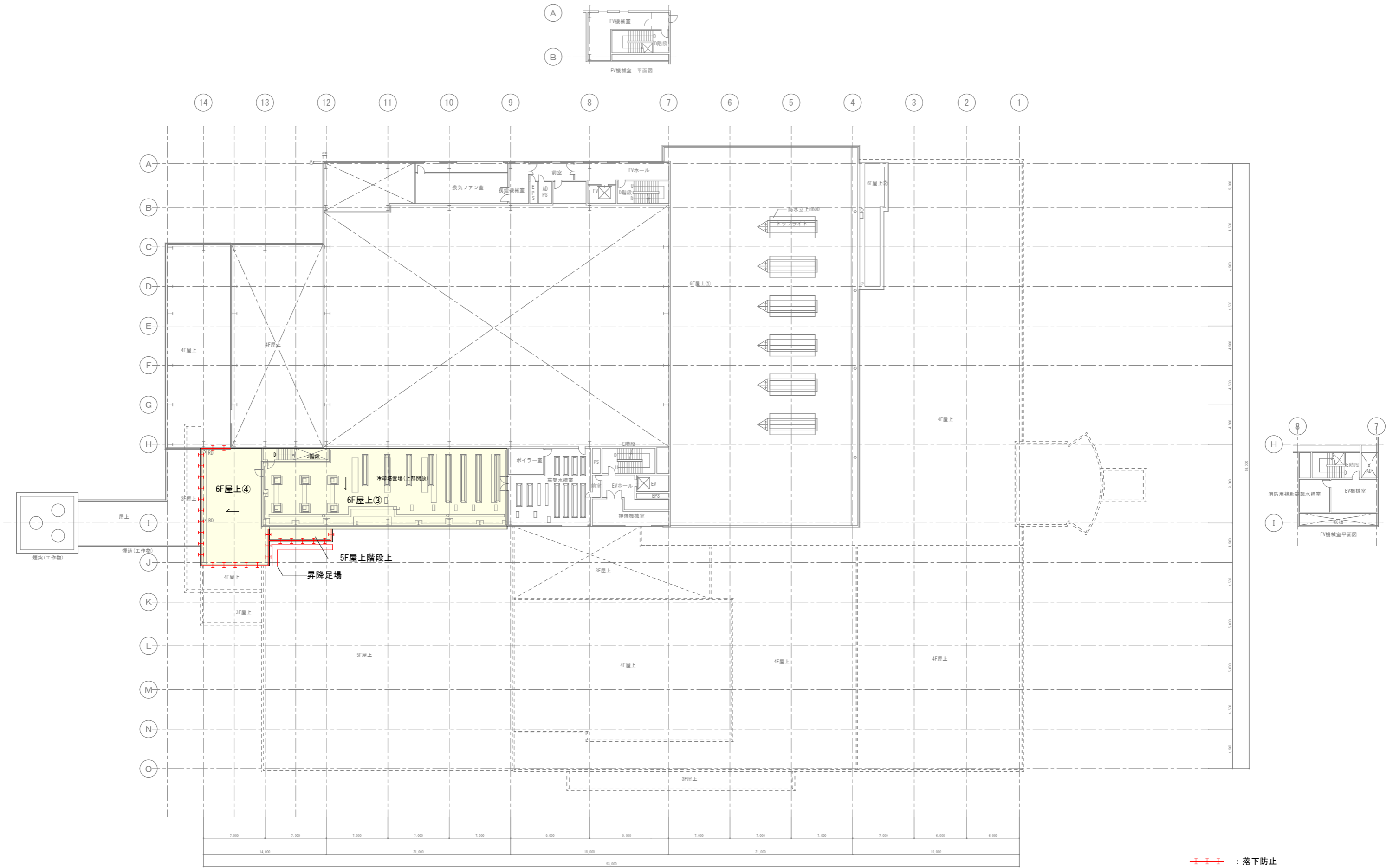
特記事項	 <div> <div>株式会社金田設計事務所</div> <div> 茨城県筑西市野殿1463番地 TEL0296 (24) 6699・FAX0296 (24) 5904 E-mail k-sekkei@vpv.biglobe.ne.jp </div> </div>	承認	担当	製図	年月日	2022. 03	工事名称	環境センター ごみ処理施設建物改修工事	図面番号
図面サイズはA 1とする。図面サイズがA 3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える 例: 1/50→1/100、1/100→1/200、1/200→1/400、1/30→1/60、1/20→1/40、1/10→1/20、1/5→1/10					縮尺	NON SCALE	図面名称	改修仕上表	A / 04
					一級建築士事務所 茨城県知事登録第A368号 一級建築士 建設大臣登録第275332号 金田 吉雄				



--- : 落下防止

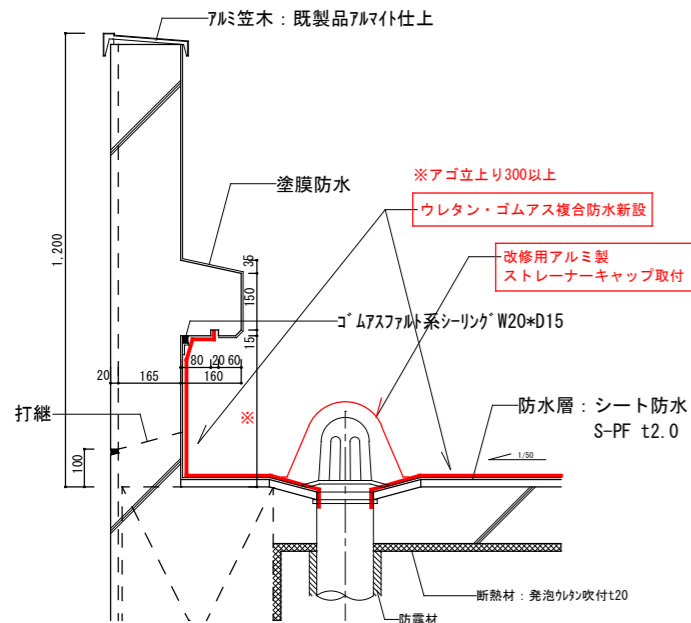
■ : 屋上（防水層）改修部分を示す

特記事項 手摺基礎・避雷針 等 浮かして防水工事を施工するものとする 煙突（工作物）：工事対象外 図面サイズはA 1とする。図面サイズがA 3の場合、全ての縮尺を2倍に読み替える 例：1/50→1/100、1/100→1/200、1/200→1/400、1/30→1/60、1/20→1/40、1/10→1/20、1/5→1/10	 株式会社金田設計事務所 茨城県筑西市野殿1463番地 TEL0296 (24) 6699・FAX0296 (24) 5904 E-mail k-sekkei@vp.biglobe.ne.jp	承認 担当 製図 年月日 2022. 03 縮尺 1/200	工事名称 環境センター ごみ処理施設建物改修工事 図面名称 4 階平面図	図面番号 A 05



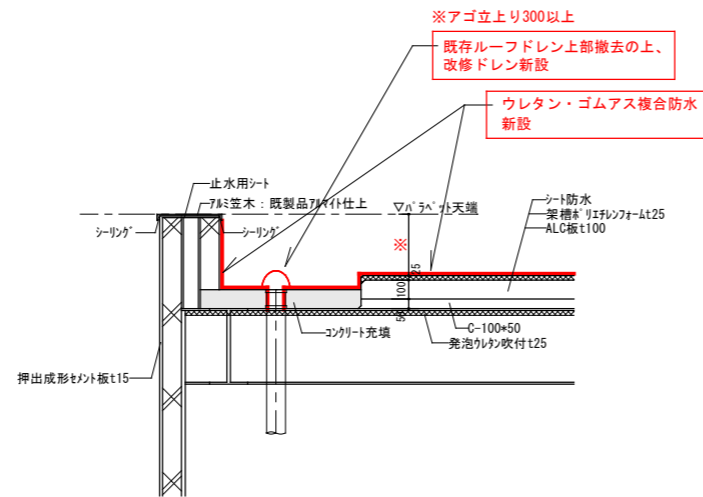
RC部 ドレイン廻り

1/10



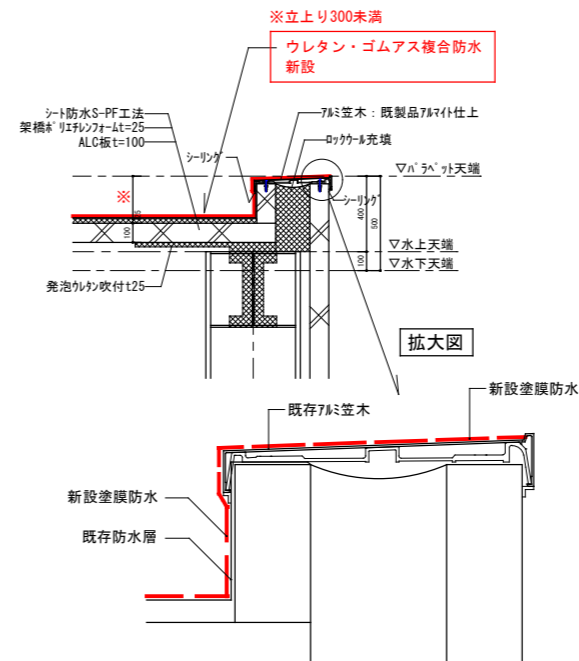
A L C 部 ドレイン廻り

1/20



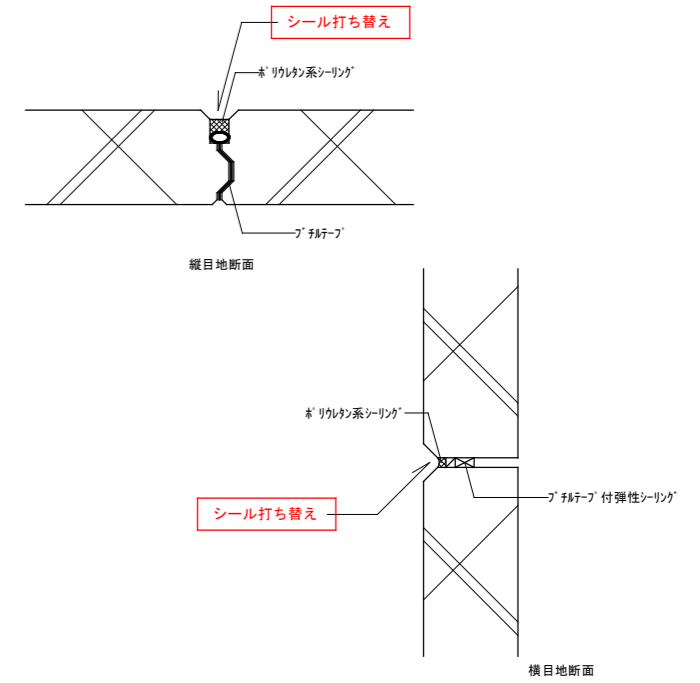
A L C 部 笠木廻り

1/20



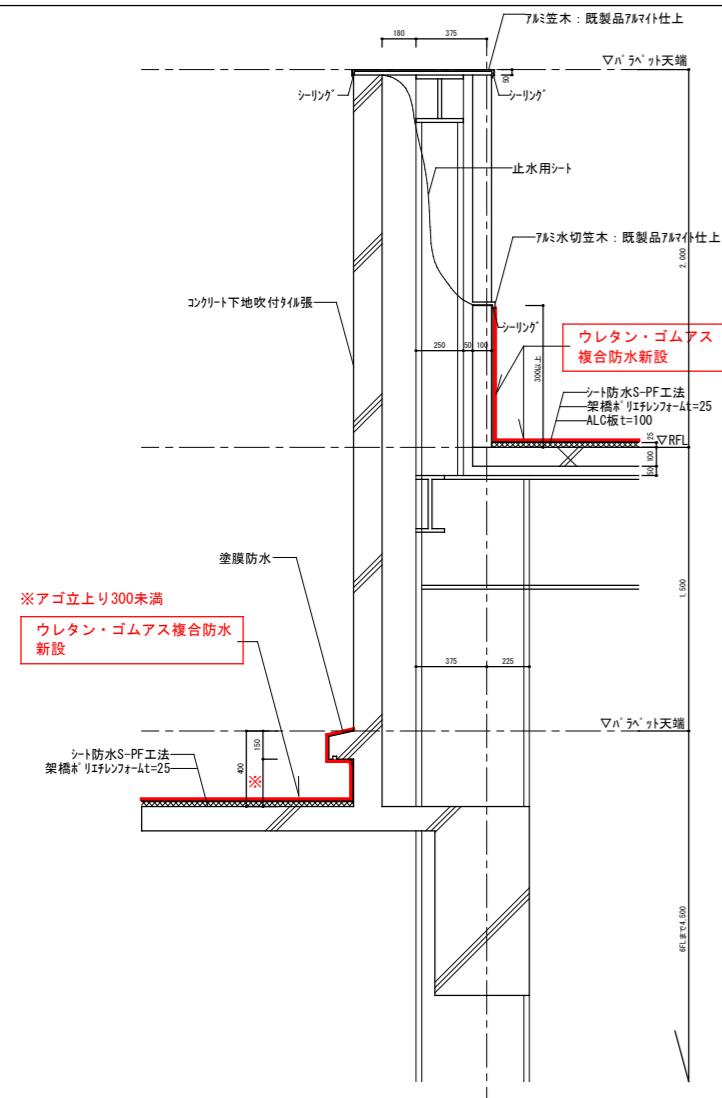
A L C二重シール部

1 / 4



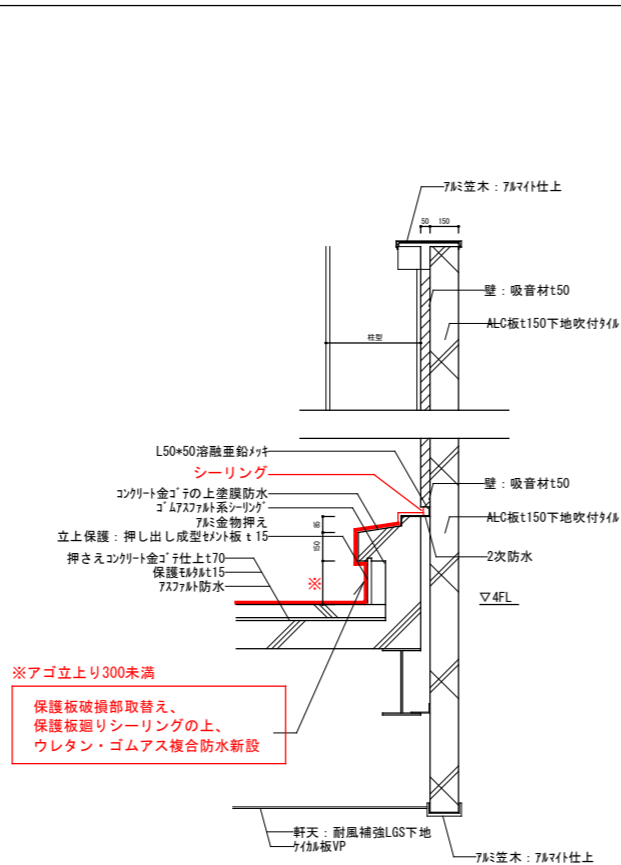
屋上 冠壁、パラペット(1)

1/20



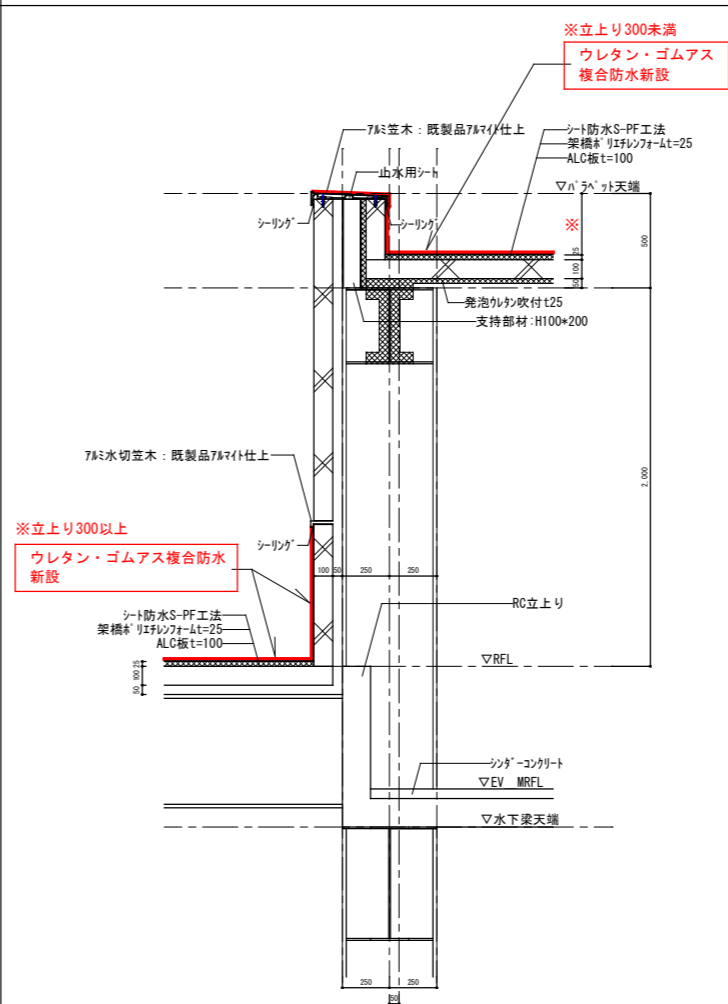
屋上 冠壁、パラペット(2)

1/20

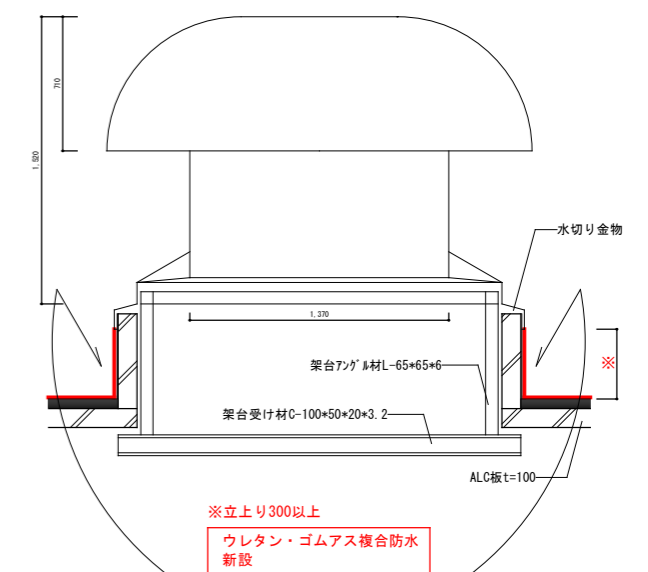


屋上パラペット

1/20



ルーフアン架台立上り（ベンチレーター、サイレンサーも同様）



■凡例

***** : 改修内容を示す